

令和7年度の学校経営にあたって

新宿区立戸塚第一小学校
校長 表 迫 信 行

1 基本理念

学校は、子どもが集団生活を通して、考え、学び、育つ場であり、それが学校の特質である。その学校の特質を生かし、子どもの健全な育成を図っていくためには、教職員が子どもにとって、学校を「行きたくてたまらない、居場所のある場」としなければならない。そのために、子ども一人ひとりが自らのよさを知り、そのよさを十分に生かすことができるよう、学習指導や生活指導等を充実させ、安心して生活できる環境づくりに努めていく。

また、学校教育は、子どものよりよい幸福な人生の実現のためにあることを基本理念とし、教育環境の創造と教職員の弛まぬ努力により、子供たちが笑顔に満ち溢れ、輝き、安心して生活できる学校づくりをめざして、以下のスローガンを掲げ、教育活動の推進・充実を図っていく。

2 経営スローガン 【継続】

自立・協働・創造の 世界市民をはぐくむ チーム戸一

3 基本理念・スローガン設定の理由・思い

- ◆「子ども」は、地域・日本・世界・未来の宝であり、未来の創り手である。その子どもの幸福の実現のために、「人格の完成」（「教育基本法」第1条）をめざし、生きる力となる「資質・能力の育成」（「学習指導要領」総則）を図っていく。
- ◆「教職員」は、子どもにとって、信頼や尊敬の対象であり、温かく、大きな力とならなければならない。子ども一人ひとりのよさを大切に、可能性を最大限に伸長することが使命である。そのために自らを律し、磨き、学び続ける心豊かな教職員でありたい。
- ◆子どもたちが、多様で変化の激しい社会を生き抜くためには、自立・創造・協働という3つの力が必要であり、この3つの力の育成を常に意識し、地域・日本・世界に貢献する人材の育成を目指す。
 - ・「自立」とは、一人一人が多様な個性・能力を伸ばし、充実した人生を主体的に切り開いていくことである。
 - ・「協働」とは、個人や社会の多様性を尊重し、それぞれの強みを生かして、ともに支え合い、高めあい、社会に参画することである。
 - ・「創造」とは、自立・協働を通じてさらなる新たな価値を創造していくことである。
- ◆グローバル化の進展や環境・エネルギー・少子高齢化等の地球規模の課題に直面している現在、「だれも置き去りにしない」の理念の下、SDGsの達成を目指し、多様性を尊重し、自立・協働・創造によって様々な課題に挑戦し、解決していく国際性豊かな世

界市民をはぐくんでいきたい。

- ◆教職員・保護者・地域住民がそれぞれの役割を果たしながら、「チーム戸一」として、三者が一体となり、次世代を担う「地域の子」として子どもたちをはぐくんでいく。

4 教育目標（目指す児童像）

人間尊重の精神に基づき、国際社会の一員としての自覚と連帯意識をもち、たくましく、心豊かに生きる児童の育成を目指す。

- 考える子（正しく判断し、創意工夫する子）
- 協力する子（きまりを守り、思いやりのある子）
- 強い子（じょうぶで、粘り強い子）

5 目指す学校像

○子ども一人ひとりが主役として活躍の場がある学校

- ・子ども一人ひとりのよさを認め、そのよさを伸ばすための場や機会を設定するとともに、賞賛を惜しまない。

○楽しく、力のつく学校

- ・楽しく、安心して生活ができ、子ども一人ひとりを大切にした授業や活動を実践し、よりよい環境の構築と多様かつ効果的な方法で指導にあたる。

○いじめのない安全・安心な学校

- ・人権第一。安全第一。学校事故ゼロを目指す。

○保護者や地域に信頼される学校

- ・保護者や地域の人々との関わりを強固なものにし、協働して子どもをはぐくむ・

○学びの連続性を高める学校

- ・近隣の保育園、幼稚園、中学校等との連携を密にしていく。

6 目指す学校像に迫るための教職員像

○子どもの可能性を信じ抜く教職員

- ・何があろうと、全員が未来の人材・宝であるとの信念を貫く。

○子どもを認め、誉め、伸ばす教職員

- ・常に子どもを一人の人格者として認め、励ましていく。

○プロとして持続的に授業改善に挑戦し、指導力向上を目指す教員

- ・常に課題をもち、自己研鑽に努め、楽しく創造的な授業を目指す。
- ・いつも児童に寄り添い、適切に、粘り強く指導、支援を行っていく。

○公私をわきまえ、公務員として組織的に行動する教職員

- ・全体の奉仕者としての自覚に立って、職務に最後まで責任をもって取り組む。

7 本年度の教職員のモットー

○教育公務員として、サービスの厳正に努め、信頼を得る。

- ・体罰、不適切な指導、個人情報の管理等、サービス事故のないように。

○子どもたちを「認めて 誉めて 伸ばす」ことを心掛ける。

- ・見放さない、決めつけない、切り捨てない、だれも置き去りにしない。
- ・多くの目で、子どもたちのよさを引き出し、可能性を伸ばす。
- ・子どもとの信頼関係をつくり上げる。

○保護者・地域の人々に対して、「誠実、親切、迅速な対応」を心掛ける。

- ・声かけや挨拶の励行。
- ・必要な情報の共有。

○学校教育を推進する者として、「報告・連絡・相談（ほうれんそう）の徹底」、「時間厳守」、「整理整頓」、「スピード」、「チームワーク」を着実にやる。